

モディリアーニやマティス、佐伯祐三、バスキアなど110名の作品が一挙集結！

「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」開催

2024年9月14日（土）～12月8日（日）／大阪中之島美術館 4階展示室

大阪中之島美術館（所在地：大阪市北区）は、「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」を、2024年9月14日（土）～12月8日（日）の会期で開催します。

パリ、東京、大阪—それぞれ独自の文化を育んできた3都市の美術館のコレクションが、大阪中之島美術館に集結します。セーヌ川のほとりに建つパリ市立近代美術館、皇居にほど近い東京国立近代美術館、大阪市の中心部に位置する大阪中之島美術館はいずれも、大都市の美術館として、豊かなモダンアートのコレクションを築いてきました。

本展は、そんな3館のコレクションから共通点のある作品でトリオを組み、構成するという、これまでにないユニークな展示を試みます。時代や流派、洋の東西を越えて、主題やモチーフ、色や形、素材、作品が生まれた背景など、自由な発想で組まれたトリオの共通点はさまざま。総勢110名の作家による、絵画、彫刻、版画、素描、写真、デザイン、映像など150点あまりの作品で34のトリオを組み、それをテーマやコンセプトに応じて7つの章に分けて紹介することで、20世紀初頭から現代までのモダンアートの新たな見方を提案し、その魅力を浮かびあがらせます。

なお、**本展の詳細は、6月頃に発表を予定**しております。概要は次ページの通りです。

CELEBRATING THE MUSEUM'S 3RD ANNIVERSARY
MODERN ART COLLECTIONS
FROM PARIS, TOKYO AND OSAKA
EXHIBITION ORGANIZED WITH THE COLLABORATION
OF THE MUSÉE D'ART MODERNE DE PARIS, PARIS MUSÉES

開館3周年記念特別展

TRIO
パリ
東京
大阪
モダンアート
コレクション

3つそろえば、新たな視点。

2024 9.14 SAT. → 12.8 SUN.

会場／大阪中之島美術館 4階展示室 開館時間／午前10時～午後5時（入場は午後3時30分まで）
休館日／月曜日（ただし9/16、9/23、10/14、11/4は開館。9/17、9/24、10/15、11/5は休館）
主催／大阪中之島美術館、東京国立近代美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪
特別協力／パリ市立近代美術館、パリのユゼ
協賛／GOMPO（ポータルデジタルシステム）工業、三井不動産、ライブアートボックス 協 会／日本経済新聞社
協賛会社ウェブサイト／<https://art.nikkei.com/trio/> MAM <https://www.mam-museum.com/> <https://www.tnmuseum.or.jp/>
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1 <https://www.nishimura-art.jp/>
問い合わせ先 TEL / 06-4301-7335（美術館総合コールセンター） 受付時間 / 9:00～21:00（年中無休）

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA



先行チラシ ビジュアル

《 報道関係者お問い合わせ先 》

「TRIO展」（大阪会場）広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：trio2024@tm-office.co.jp

◆現実と非現実のあわい

このトリオは、いずれも過去の絵画を参照し、画家が自らの分身のような存在を描き込むことで、現実と非現実のあわいを出現させているという点で共通しています。ブローネルは、かつてアンリ・ルソーが住んだペレル通り2番地2に引っ越したことから、ルソーの《蛇使いの女》（1907年、オルセー美術館）に、自らが生み出した、巨大な頭部と2つの身体、6本の腕を持つ「コングロメロス」を登場させています。マグリットはしばしば描いた山高帽の男の背に、ボッティチェリの《春》（1482年頃、ウフィツィ美術館）の花の女神フローラを重ねました。ピエロ・デッラ・フランチェスカから初期ルネサンスのフレスコ画に魅せられた有元の絵画は、他の多くの作品にもみられる古典的な女性が中央に鎮座し、非現実的でありながら懐かしさを漂わせています。



【1】ヴィクトル・ブローネル
《ペレル通り2番地2の出会い》1946年、
パリ市立近代美術館
photo: Paris Musées/Musée d'Art
Moderne de Paris



【2】ルネ・マグリット《レディ・メイドの花束》
1957年、大阪中之島美術館



【3】有元利夫《室内楽》1980年、東京国立近代美術館

◆モデルたちのパワー

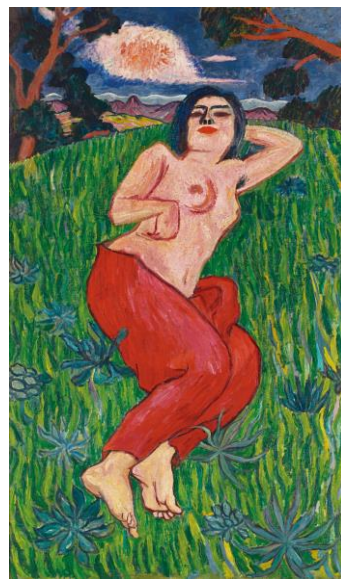
大胆にくつろいだポーズで、思い思いに寝そべるモデルたち。西洋絵画の歴史の中で脈々と続いてきた横たわる女性像は、理想美を体現し、男性に見られる対象として、しばしば無防備な姿で描かれてきました。しかし、挑発するようにこちらを見つめるモディリアーニの裸婦、寝ころんでこちらを見おろす萬の裸体美人、そして見られることにまるで無頓着なマティスのオダリスクには、私たちの視線を跳ね返し、彼女たちそれぞれの美を誇るようなパワーがみなぎっています。



【4】アンリ・マティス《椅子にもたれるオダリスク》
1928年、パリ市立近代美術館
photo: Paris Musées/Musée d'Art Moderne de Paris



【5】アメデオ・モディリアーニ《髪をほどいた横たわる裸婦》
1917年、大阪中之島美術館



【6】萬鉄五郎《裸体美人》（重要文化財）
1912年、東京国立近代美術館

開催概要

展覧会名：TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション

会 期：2024年9月14日（土）～12月8日（日）

休 館 日：月曜日（ただし、9月16日、23日、10月14日、11月4日は開館、翌火曜日休館）

開場時間：10:00～17:00（入場は16:30まで）

会 場：大阪中之島美術館 4階展示室

主 催：大阪中之島美術館、東京国立近代美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪

特別協力：パリ市立近代美術館、パリミュゼ

協 賛：SOMPOホールディングス、ダイキン工業、三井不動産、ライブアートブックス

協 力：日本航空

美術館公式ホームページ：<https://nakka-art.jp/>

展覧会サイト：<https://art.nikkei.com/trio/>

お問い合わせ：06-4301-7285 大阪市総合コールセンター（なにわコール）

※受付時間 8:00～21:00（年中無休）

◆本展の詳細は、2024年6月に発表を予定しております。

◆東京会場：2024年5月21日（火）～8月25日（日）東京国立近代美術館

▼本展の広報用画像貸出について

以下の【1】～【7】の画像を広報用として貸出いたします。

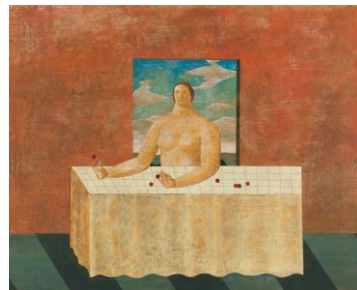
画像貸出申込フォームURL：<https://forms.gle/ne9JLJP9CfzDFrTBA>



【1】ヴィクトル・ブローネル
《ペレル通り2番地2の出会い》



【2】ルネ・マグリット
《レディ・メイドの花束》



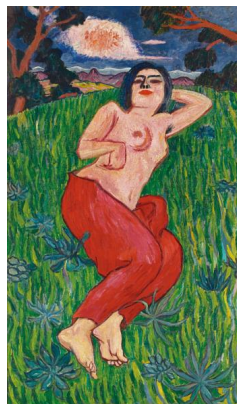
【3】有元利夫《室内楽》



【4】アンリ・マティス
《椅子にもたれるオダリスク》



【5】アメデオ・モディリアーニ
《髪をほごいた横たわる裸婦》



【6】萬鉄五郎《裸体美人》
（重要文化財）



【7】先行チラシ

《 報道関係者お問い合わせ先 》

「TRIO展」（大阪会場）広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場）090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：trio2024@tm-office.co.jp